

平成 18 年度 河川レンジャー年間活動計画（案）

平成 18 年 2 月 28 日

伏見出張所管内河川レンジャー

目 次

< 永山河川レンジャー >

1 . 活動のテーマと内容 (永山河川レンジャー)	1
2 . 京都伏見ジュニア河川レンジャー	2
(1) 京都伏見ジュニア河川レンジャー	2
(2) 京都伏見ジュニア河川レンジャー機関誌の発行	4
(3) 伏見区内小学校の先生を対象とした体験視察受け入れ	6
(4) 京都伏見ジュニア河川レンジャー広報活動	7
3 . 京都伏見シルバー河川レンジャーの検討	8
4 . 伏見リバースクール	9
(1) 伏見リバースクール 夏休み親子歴史教室	9
(2) 伏見リバースクール 歴史探訪	11
5 . 濠川・宇治川派流 紫陽花・紅葉・ユキヤナギの植樹	13

< 松岡河川レンジャー >

6 . 活動のテーマと内容 (松岡河川レンジャー)	14
7 . 伏見三栖自然観察会	15
(1) 伏見三栖自然観察会	15
(2) 永山河川レンジャーとの連携	17
8 . 山科川周辺改善懇談会	18
9 . 節水意識の普及・啓発活動	20

1. 活動のテーマと内容（永山河川レンジャー）

伏見出張所管内河川レンジャーの永山河川レンジャーは、以下の活動テーマのもと、9つの活動・取組みを実施します。

活動テーマ

河川を通したまちづくり・人づくり・ネットワークづくり

平成 18 年度 永山河川レンジャーの活動内容一覧

活動分野	活動名	担当者
河川を通した人材育成・啓発活動	京都伏見ジュニア河川レンジャー	永山
	京都伏見ジュニア河川レンジャー機関誌の発行	永山
	伏見区内小学校の先生を対象とした体験視察受け入れ	永山
	京都伏見ジュニア河川レンジャー広報活動	永山
川の管理を支援する活動	京都伏見シルバー河川レンジャー活動の検討	永山
川と地域の歴史・川にまつわる文化の普及・啓発活動	伏見リバースクール 夏休み親子歴史教室	永山
	伏見リバースクール 歴史探訪	永山
住民参加の促進活動、川づくり・まちづくりへの参画・支援活動	濠川・宇治川派流 紫陽花・紅葉・ユキヤナギの植樹	永山
河川の環境保全を啓発する活動	伏見三栖自然観察会との連携	松岡・永山

2. 京都伏見ジュニア河川レンジャー

平成 18 年度で 4 年目を迎える京都伏見ジュニア河川レンジャーは、地域へより浸透した活動となることを目指し、継続して活動を行います。

また、活動をより充実させるための取り組みを実施したいと考えています。

(1) 京都伏見ジュニア河川レンジャー

平成 17 年度に引続き、京都伏見ジュニア河川レンジャーは、以下に示す目的のもとに活動を実施します。

地域の財産でもある河川に対する意識高揚

子どもたちが発信者となる河川を話題としたコミュニケーションづくり

地域内に向けた郷土愛づくり、人づくり、ネットワークづくり

年間スケジュール

	平成18年									平成19年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備	準備・広報・募集											
実施		学習								学習		

3月より募集案内を行う

1) 活動の内容

下記の学習 ~ を実施し、学習 ~ の修了者に認定書とバッジを進呈します。

学習 十石舟乗船

学習 河川の生物観察・川のクリーンアップ (学習 修了時にレポート提出)

学習 河川やまちに関する学習会

2) 実施場所

学習 濠川・宇治川派流、伏見みなと広場

十石舟の運航コースであるとともに三栖閘門等の地域資産についてもふれることができ、河川沿いも安全で学習に適しているため

学習 参加小学校教室

小学校側が参加しやすいことを考慮

3) 対象および参加費

伏見区内小学校 4年生

小学校側が4年生で目指す授業目標と本活動の目標・内容とが一致するため
参加費 / 無料

4) 広報・募集

伏見区内小学校 12校へ直接募集案内

タウン誌「THE 伏見」にて募集案内を掲載

区民新聞折込地域紙「We Love Fushimi 夢通信」にて募集案内を掲載

5) 河川レンジャーの活動内容

企画 資料作成・検討 参加案内 参加確認 活動状況報告

関係機関との調整 参加校との打合せ 活動の実施 活動レポートの回収・集計

6) 活動に必要な支援

人的支援

学習 実施における安全確保補助員

学習 実施における協力スタッフ

学習 実施における講師

物的支援

学習 における清掃用具 軍手・ゴミ袋

学習 における拾ったゴミの処理

活動修了者に贈るバッジ

バッジ制作機器

7) 昨年度の活動を受けての改善内容

小学校への活動案内は小学校の授業計画が決定する以前の3月～4月上旬に行う

学習 において子どもたちが拾ったごみを処理できる方法を考えたい

活動に対する認識、理解を各小学校全体で持ってもらえるよう考えたい

活動中にユニホーム(ビブス)を着用するなどし、本活動をPRしていくことを考えたい

京都伏見ジュニア河川レンジャー1期生(平成15年度生)～4期生(平成18年度生)の地域

河川活動等への参加呼びかけ

(2) 京都伏見ジュニア河川レンジャー機関誌の発行

以下に示す目的のもと、京都伏見ジュニア河川レンジャー機関誌を発行します。

ネットワークづくりへ向けた情報伝達

保護者、学校、子どもたちの河川、まちへの意識高揚、河川活動への参加

京都伏見ジュニア河川レンジャーの自覚継続

年間スケジュール

	平成18年										平成19年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
準備	企画		企画・取材										
実施											配付		

1) 機関誌の内容

京都伏見ジュニア河川レンジャーQ&A

- ・何のために活動しているの？
- ・どんな活動をしているの？
- ・何年生が活動するの？
- ・活動を修了したらどうなるの？
- ・これから活動はどうなっていくの？

みんなの声

- ・子どもたちの感想、意見
- ・保護者の意見
- ・先生の意見

伏見の川にでかけよう！

- ・伏見で出会う野鳥の紹介
- ・伏見の川に咲く草花の紹介
- ・伏見の川で答えを見つけようクイズ

京都伏見ジュニア河川レンジャーたちが河川へ出かけるためのしかけとして、紙面で伏見の川で答えを見つけるクイズを出題します。事務局で解答を募集し、全問正解者には記念品を贈呈します。

京都伏見ジュニア河川レンジャーだから活動に参加しよう！

- ・クリーンアップ参加募集
- ・「濠川・宇治川派流 紫陽花・紅葉・ユキヤナギ植樹」参加募集

京都伏見ジュニア河川レンジャーだから知っておこう

- ・水防について

京都伏見ジュニア河川レンジャー紹介

- ・1～3期生の氏名紹介

2) 配布対象

京都伏見ジュニア河川レンジャー 1～3期生 約 1300 名

京都伏見ジュニア河川レンジャー参加校 7校

3) 配布方法

各小学校へ必要部数を配布し、小学校から子どもたちへ配布していただきます。

4) 発行部数

1,500 部

京都伏見ジュニア河川レンジャー 1～3期生 1300 部

各小学校 7校各 20部 140 部

保管用 60 部

5) 河川レンジャーの活動内容

企画 資料作成・検討 機関紙の制作 活動状況報告 関係機関との調整
配布校との打合せ

6) 活動に必要な支援

制作費

(3) 伏見区内小学校の先生を対象とした体験視察受け入れ

以下に示すの目的のもと、伏見区内の小学校の先生を対象として、京都伏見ジュニア河川レンジャーへの体験視察を受け入れます。

京都伏見ジュニア河川レンジャー活動への参加者の拡大
伏見区内小学校へ京都伏見ジュニア河川レンジャー活動の周知

1) 活動の内容

伏見区内の小学校先生に京都伏見ジュニア河川レンジャー活動を実地体験してもらい参加者の増加を促進するため、下記の活動を実施します。

京都伏見ジュニア河川レンジャー活動学習 十石舟乗船の体験視察
京都伏見ジュニア河川レンジャー活動学習 河川の生物観察の体験視察
提出するレポート内容の説明
京都伏見ジュニア河川レンジャー活動学習 河川やまちに関する学習会の説明
意見アンケート記入

2) 対象および参加費

対象は伏見区内の小学校の先生とします
参加費 / 無料

3) 実施場所

濠川・宇治川派流、伏見みなと広場

4) 広報・募集

募集方法

伏見区内小学校へ直接募集案内
タウン誌「THE 伏見」にて募集案内の掲載
区民新聞折込地域紙「We Love Fushimi 夢通信」にて募集案内の掲載

募集期間

平成 18 年 3 月下旬～平成 18 年 7 月末

5) 河川レンジャーの活動内容

企画 資料作成・検討 参加案内 参加確認 活動状況報告
関係機関との調整 参加校との打合せ 活動の実施 活動レポートの回収・集計

6) 活動に必要な支援

人的支援

学習 実施における安全確保補助員
学習 実施におけるコーディネーター
学習 実施における講師

物的支援

配布資料制作費

(4) 京都伏見ジュニア河川レンジャー広報活動

以下に示す目的のもと、京都伏見ジュニア河川レンジャーについて、広報活動を行います。

京都伏見ジュニア河川レンジャー活動以降も継続的な河川への意識高揚を行う
保護者、学校、子どもたちの河川、まちへの意識高揚、河川活動への参加
河川、まちについて幅広い視野で考えられる人材の育成
水防等知識の伝達

1) 広報の方法

詳細については検討中ですが、以下の案を考えています。

広告媒体を使った広報

地方自治体、TMO、地元企業等の地域イベントと連携した広報

2) 実施期間

平成 18 年 3 月から

3) 対象

地域内外

4) 河川レンジャーの活動内容

企画 資料作成・検討 地域住民との調整 活動状況報告 関係機関との調整

5) 活動に必要な支援

広告媒体費

制作費

3 . 京都伏見シルバー河川レンジャー活動の検討

以下に示す目的のもと、京都伏見シルバー河川レンジャーについて検討します。

地域内高齢者を対象とした河川活動組織の立ち上げ

新たな地域内河川環境事業の検討

地域内に向けた郷土愛づくり、人づくり

1) 検討事項

組織づくりの方法について

(案)初期は濠川・宇治川派流河川周辺住民の方々と調整を図り窓口づくりを行う

対象者について

(案)初期は濠川・宇治川派流河川周辺住民 その後参加者の範囲を広げる

活動内容について

(案) 1 . 定期的な河川清掃・草刈り

2 . 河川沿いに植樹してある桜・紫陽花・紅葉・ユキヤナギ等の維持管理

3 . 除草した草を使った堆肥づくり等の環境事業

4 . 京都伏見ジュニア河川レンジャーとコミュニケーションを図れる活動

5 . 宇治川沿いの植物の管理

活動場所について

(案)宇治川、濠川・宇治川派流

2) 河川レンジャーの活動内容

企画 資料作成・検討 案内 地域との調整 検討会議開催 活動状況報告

関係機関との調整

4. 伏見リバースクール

伏見リバースクールは、平成16年度から開始し、昨年度は親子を対象にした「夏休み親子歴史教室」と、高校生以上を対象とした「歴史教室」をそれぞれ2回実施しました。

平成18年度も昨年度までの活動結果を踏まえ、引続き活動を継続します。

(1) 伏見リバースクール 夏休み親子歴史教室

昨年度に引続き、以下の目的のもとに夏休み親子歴史教室を開催します。

地域内外の幅広い範囲の方々に河川に対する意識啓発

家庭における河川を話題としたコミュニケーションづくり

伏見の河川について幅広い視点での意見を聞き今後の活動につなげる

年間スケジュール

	平成18年										平成19年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
準備	準備・広報・募集												
実施				実施									

7、8月の2回開催

1) 活動の内容

十石舟乗船

みなと広場・三栖閘門見学

河川やまちに関する学習散策会

アンケート記載

2) 対象および参加費

小学生親子

親子を対象とすることにより、河川に関する家庭でのコミュニケーションの広がりをねらう

参加費 / 無料

3) 実施場所

濠川・宇治川派流、伏見みなと広場、伏見出張所

十石舟の運航コースであるとともに三栖閘門等の地域資産についてもふれることができ、河川沿いも安全であるため。

4) 広報・募集

タウン誌「THE 伏見」にて募集案内の掲載

区民新聞折込地域紙「We Love Fushimi 夢通信」にて募集案内の掲載

5) 河川レンジャーの活動内容

企画 資料作成・検討 募集案内の実施・申込み受付 参加者との調整

活動状況報告 関係機関との調整 会場設営 歴史教室の実施

アンケートの集計

6) 活動に必要な支援

人的支援

実施における安全確保補助員

実施におけるコーディネーター

物的支援

参加者の飲料

配布資料作成費

参加者に配布する記念品

7) 昨年度の活動を受けての改善内容

実施時は非常に気温も高いため参加者へ冷たい飲み物を提供しようと考えている

例年、参加者の年齢に幅があるため(3歳~11歳)、そのことを考慮したい

(2) 伏見リバースクール 歴史探訪

昨年度に引続き、以下の目的のもとに伏見リバースクール 歴史探訪を開催します。

地域内外の幅広い世代の方々に河川に対する意識啓発

まちと河川との関りの史実とまちの歴史文化の継承

年間スケジュール

	平成18年										平成19年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
準備	準備・広報・募集												
実施						実施							

9、10月の2回実施

1) 実施内容

十石舟乗船

みなと広場見学

河川・歴史史跡散策会

アンケート記載

2) 対象および参加費

中学生以上

参加費 / 1,000 円

3) 実施場所

濠川・宇治川派流、伏見みなと広場、月桂冠大倉記念館、伏見桃山界限

4) 広報・募集

タウン誌「THE 伏見」にて募集案内の掲載

区民新聞折込地域紙「We Love Fushimi 夢通信」にて募集案内の掲載

5) 河川レンジャーの活動内容

企画 資料作成・検討 募集案内の実施・申込み受付 参加者との調整

活動状況報告 関係機関との調整 会場設営 歴史教室の実施

アンケートの集計

6) 活動に必要な支援

人的支援

実施における安全確保補助員

実施における講師

物的支援

参加者の飲料

配布資料作成費

参加者に配布する記念品

7) 昨年度の活動を受けての改善内容

参加費を下げる方向で変更

5. 濠川・宇治川派流 紫陽花・紅葉・ユキヤナギの植樹

以下に示す目的のもと、濠川・宇治川派流での紫陽花・紅葉・ユキヤナギの植樹活動を実施します。

地域の方々が積極的かつ長期的に水辺空間づくりに関れる取組みの具現化
地域内に向けた郷土愛づくり、人づくり、ネットワークづくり

年間スケジュール

	平成18年									平成19年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備	告知・準備											
実施											実施	

1) 実施内容

河川清掃活動
植樹セレモニー
地域のみなさんと植樹実施

2) 対象

濠川・宇治川派流周辺住民
京都伏見ジュニア河川レンジャー

3) 実施場所

濠川・宇治川派流 (18年度：であい橋～大手橋東岸 弁天橋～平戸樋門両岸)

4) 広報・募集

京都伏見ジュニア河川レンジャー参加校へ参加案内を郵送
河川周辺住民へ参加案内を郵送
タウン誌「THE 伏見」にて開催告知・参加募集案内を掲載
区民新聞折込地域紙「We Love Fushimi 夢通信」にて開催告知・参加募集案内を掲載

5) 河川レンジャーの活動内容

企画 資料作成・検討 地域住民との調整 参加案内 参加確認 活動状況報告
関係機関との調整 参加校との打合せ 植樹の実施

6) 活動に必要な支援

人的支援
実施における安全確保補助員
物的支援
植樹する植物

6 . 活動のテーマと内容（松岡河川レンジャー）

伏見出張所管内河川レンジャーの松岡河川レンジャーは、以下の活動テーマのもと、4つの活動・取組みを実施します。

活動テーマ

活動を通じた、川と人との交流、川に触れるきっかけづくり

平成 18 年度 松岡河川レンジャーの活動内容一覧

活動分野	活動名	担当者
河川の環境保全を啓発する活動	伏見三栖自然観察会	松岡
	永山河川レンジャーとの連携	永山・松岡
河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動	山科川周辺改善懇談会	松岡
節水意識の普及・啓発活動	節水意識の普及・啓発活動	松岡

7. 伏見三栖自然観察会

(1) 伏見三栖自然観察会

昨年度に引続き、「河川の自然」をキーワードに河川環境の状況の把握や保全等について、地域住民と川を結びつけるきっかけづくりを行います。活動は、伏見出張所管内の宇治川沿川を活動フィールドとして実施します。また、協力をいただく観察指導員については、現在、調整中です。

年間スケジュール

	平成18年									平成19年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備												
実施				第7回			第8回			第9回		

実施回数については、協力者との調整の中で、できるだけ増やしていきたいと考えています。

1) 活動の内容

第7回 野鳥の観察（向島のツバメの営巣地）

京都におけるツバメの集団ねぐらとして有名な宇治川向島のヨシ原で、『ツバメのねぐら』の観察を行います。観察指導員によるツバメの説明や質疑応答を行い、普段の生活の中で比較的身近な野鳥であるツバメの観察をきっかけに、「河川の自然」について知り、一緒に考えます。

第8回 水の観察

自分たちの飲み水にも使われている、川の「水」を主眼において、『水の中の環境』を知り、水質の簡易測定や水生生物の観察を行い、川をよりよい環境にするためにはどのような取り組みが必要か、また、自分たちでできることは何かを一緒に考えます。

第9回 野鳥の観察（冬鳥の観察）

冬に飛来してくる野鳥や、一年を通じて生息する野鳥の観察を行います。観察指導員から、野鳥の嘴からわかるエサの違いや野鳥の特徴等の説明を受け、その観察場所である川の様子などにも触れながら、「河川の自然」について一緒に考えます。

2) 実施場所

第7回 向島左岸 向島地区(京都市伏見区向島上林町、向島大河原地先)

第8回 宇治川支川・白川(東海自然歩道 紅葉谷)

第9回 宇治川(検討中)

3) 対象及び参加費

一般(大人から子どもまで)

参加費/無料

4) 広報・募集

三栖閘門資料館ホームページ

沿川自治体による募集案内の配布

伏見区内の小学校に協力を得て募集案内を配布()

永山河川レンジャーとの連携

協力者(調整中)による募集案内の配布(予定)

新聞等各媒体への掲載(状況による)

5) 河川レンジャーの活動内容

企画 協力団体との調整 関係機関との調整 資料作成・検討 募集の実施

申込み受付 活動状況報告 開催準備 観察会の実施

6) 活動に必要な支援

人的支援

補助人員の派遣

物的支援

配布物の提供

備品等の提供・貸与

マイクロバスによる送迎

資料提供

(2) 永山河川レンジャーとの連携

第3回運営会議において提起された意見を受け、平成18年度は伏見三栖自然観察会において永山河川レンジャーと連携した活動を行います。

長期的には、各活動の企画段階からの連携を視野に入れていますが、今年度は伏見三栖自然観察会を実施する中で、永山河川レンジャーが実施する活動(特に京都伏見ジュニア河川レンジャー)のネットワークを用いて、広報面や伏見区内の小学校への参加調整・募集呼びかけ等で連携し、参加者の増加と範囲拡大を目指します。

1) 実施内容

第7回伏見三栖自然観察会において、永山河川レンジャーの持つネットワークを用いた活動の広報や募集呼びかけを行い、参加者の増加を図ります。

2) 対象者・定員

対象は原則として制限を設けず「大人から子どもまで」としますが、連携により「小学生親子」での参加を期待します。

定員は、松岡河川レンジャーと協力者で対応できる人数によりますが、できる限り連携による参加者増に対応できる体制をとり、その上で永山河川レンジャーと連絡調整を行い、最終的な定員を設定します。

3) 実施場所

向島左岸 向島地区(京都市伏見区向島上林町、向島大河原地先)

4) 広報・募集

伏見区内小学校

タウン誌「THE 伏見」にて募集案内を掲載

区民新聞折込地域紙「We Love Fushimi 夢通信」にて募集案内を掲載

5) 連携による河川レンジャーの活動内容

企画 永山河川レンジャーとの調整 協力機関との調整

募集案内の検討・実施・申込み受付 参加者との調整 活動状況報告

関係機関との調整 観察会の実施 アンケートの集計

6) 活動に必要な支援

各媒体掲載費

8 . 山科川周辺改善懇談会

平成 16 年度より、山科川丹後橋付近で問題となっている様々な問題について、地域住民による対策案づくりを行っており、今年度も継続した活動を行います。

現在は、懇談会が中断していますが、より具体的に検討を行うための新たな組織を立ち上げ、今まで以上に住民主体の積極的な議論を行い、問題に対する地域としての整備計画案の作成を目指します。

同時に、地元に対して積極的にこの問題について発信し、「河川利用」の啓発・浸透を目指します。

年間スケジュール

	平成18年										平成19年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
準備													
実施	年間を通じて活動												

懇談会は月 1 回程度の開催を目処に、これから立ち上げる組織において検討を行います。

1) 活動の内容

以下に示す事項をこれから立ち上がる組織に提案し、当面は を中心に懇談会を開催します。

- 丹後橋上下流(左岸)の堤防の整備案づくりと左右岸の違法駐輪や不法耕作などの問題に対する「河川利用」の意識啓発
- 整備後の地域での維持管理方法の検討
- 桃山南地域連携団体(サポータークラブ的な組織)の発足
- 地域での河川レンジャー発掘

2) 情報発信

広報誌「懇談会だより」を作成し、自治会等地域の各種団体や教育機関の協力を得ながら、地域全体へ情報を発信します。

3) 河川レンジャーの活動内容

- 地域から選出された座長のサポート
- 地域が希望する議事に必要な情報の収集や、資料の作成
- 伏見出張所の担当職員へ懇談会の討議結果を報告し、河川管理者の意見を聴取

4) 活動に必要な支援

討議上必要となった場合の見識者等の出席依頼の協力

討議上必要となった場合の情報や知識の提供

5) 昨年度の活動を受けての改善内容

昨年度までは、河川レンジャーが議事の進行を行っていましたが、新たな組織では「座長」を地域から選出し、「地域で考える」ことをより前面に出し、「自分たちの問題」としての浸透を図ります

山科川左岸の問題が中心となりますが、改善には右岸の駐輪問題も深く関わります。学区は異なりますが、左右岸ともに「河川利用」についての啓発・浸透を図ります。

地域内の学校関係との連携をより深め、次世代への取り組みも視野に入れていくことを考えています。

9. 節水意識の普及・啓発活動

蛇口をひねれば当たり前のように出てくる水(飲み水)について、あらためて「私たちの飲み水はどこから来るのか?」から始め、水資源の大切さや河川環境とのつながりなどを学習し、考えていただく場を設けます。

年間スケジュール

	平成18年										平成19年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
準備													
実施													

1) 活動の内容

イベントの実施

小学生～一般を対象とし、節水について楽しく学べるイベントです。

水需要抑制と河川環境の係わり、水資源の大切さ、生活の中の水、水循環、自分にもできる節水など、さまざまなテーマに沿って、専門家による講演、テーマを学習するための展示、紙芝居やビデオの上演、クイズやゲームの実施などを交え、子どもにも分かりやすく楽しく学べるように工夫します。

・講演

専門家を招待して、イベントのテーマに沿った内容の講演会を開催します。講演を通じて、節水の必要性などを学んでいただき、参加者の意識を啓発します。

・紙芝居・ビデオ上演

節水の大切さについて、子どもにわかりやすく伝えられる紙芝居やビデオを上演します。

・クイズ・ゲーム

節水についての基礎知識や節水のためにどんなことをすればいいのかを問うクイズやゲームを実施します。

伏見三栖自然観察会との連動

特に、8月～10月実施予定の伏見三栖観察会との連動を検討していきます。

2) 実施場所

伏見みなと広場等、公共性の高いスペース
(伏見三栖自然観察会との連動も含め、検討します。)

3) 対象及び参加費

一般(大人から子どもまで)
参加費/無料

4) 広報・募集

三栖閘門資料館ホームページ
沿川自治体による募集案内の配布
協力者(調整中)による募集案内の配布(予定)
新聞等各媒体への掲載(状況による)

5) 河川レンジャーの活動内容

企画 専門家(協力団体)への協力依頼 関係機関との調整 資料作成・検討
募集の実施 申込み受付 活動状況報告 開催準備 イベントの実施

6) 活動に必要な支援

人的支援

専門講師の派遣
補助人員の派遣

物的支援

配布物の提供
備品等の提供・貸与
資料提供